

検定意見書

受理番号	26-17	学校	中学校	教科	技術・家庭	種目	技術・家庭（家庭分野）	学年	1-3
------	-------	----	-----	----	-------	----	-------------	----	-----

番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	7	右下	吹き出し いまの自分には、何が自然できて、何がむずかしいのかな？	脱字である。	3-(2)
2	24	側注	NPO法人 阪神・淡路大震災をきっかけにNPO法が整備され、この法律にもとづいて都道府県または内閣府の認証を受けて設立される。	不正確である。 (「都道府県または内閣府の認証を受けて」)	3-(1)
3	30	囲み	自立度チェック 2. 幼稚園（保育所）の子どもと、楽しく遊ぶ自信がある。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (幼稚園と保育所が同じであるかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)
4	33	右下	吹き出し 着替がえ	誤記である。	3-(2)
5	76	図5	食事摂取基準 (厚生労働省「日本人の食事摂取基準 2010年版（平成22年度から平成27年度の5年間）」より)	誤りである。 (「平成27年度」)	3-(1)
6	85	図8	食品成分表 ミルクチョコレート	不正確である。 (出典に照らして値が不正確である。)	3-(1)
7	93	図2	ちえさんが考えた、ある休日の食事献立 図中の数値及び食品	誤りである。 (3群・4群の昼食合計の数値、5群の1日合計の数値、カレーライス5群の食品)	3-(1)
8	100	下囲み	1乾燥野菜・乾燥果物 ①野菜や果物をうす切りにし、天日干しにして乾燥させる。	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (天日干し乾燥の方法・注意点などについて不明)	2-(13)
9	106	図2	野菜や果物の皮をむくときは じやがいもの皮をむく写真 118ページ カレーライス 作り方2① 131ページ けんちん汁 作り方2①	相互に矛盾している。 (80~82ページ 図7等の野菜・いもの扱いと矛盾)	3-(1)
10	114	上	1材料・分量について 約115gの皮つきさといも（廃棄率15%）→可食部 約100g, 廃棄部 約15g	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (廃棄率の計算)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

3 枚中 _2_ 枚目

受理番号 26-17		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（家庭分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
11	127		筑前煮 しようゆ…8g (小1.5強) 及び、108ページ 容量と重量の関係 は? しようゆ・みそ・みりん	相互に矛盾している。	3-(1)
			小さじ(5mL) 6g		
12	133	左	大根のお焼き 材料・分量 米粉 食品群のマーク	誤りである。 (114ページのマークの説明に照らして、米粉の食品群のマークは誤りである。)	3-(1)
13	133	右	じゃがいものお焼き 材料・分量 こしょう…10g	生徒にとって理解し難い表現である。 (こしょうの量)	3-(3)
14	179	側注	着方による印象のちがい 同じ服の組み合わせでも、シャツ(またはブラウス)をベルトイン(そそをパンツまたはスカートの中に入れる) するかしないか、	生徒にとって理解し難い表現である。 (「ベルトイン」)	3-(3)
15	185	図7	既製服の表示例と、その内容 取り扱い絵表示 JIS(日本工業規格)による表示とISO(国際標準化機構)による表示がある。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (日本国内において、ISOのみの表示があるかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)
16	185	図7	既製服の表示例と、その内容 取り扱い絵表示 ISOによる表示	不正確である。 (図版)	3-(1)
17	185	図7	既製服の表示例と、その内容 取り扱い絵表示 ISOによる表示	脱字である。	3-(2)
18	186	図8	取り扱い絵表示の例と、その意味 (全体)	不正確である。 (「ISOの表示」)	3-(1)
19	189	図11	衣服のよごれ (「家政学雑誌」18, 29より)	不正確である。 (出典の表記)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

受理番号 26-17		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（家庭分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
20	190	囲み	エコロジーな繊維製品	発展的な学習内容には該当しない。	2-(14)
21	197	囲み	アイロンの安全で正しい使い方 取り扱い絵表示とアイロンの温度、布の種類	不正確である。 (「およそ100℃」「およそ150℃」「およそ200℃」「アイロンはかけられない」の取り扱い絵表示のうち、右側に示されたもの)	3-(1)
22	202	囲み	ジャケット 表えり、裏えり 図	生徒にとって理解し難い図である。 (表えりと裏えりの形状)	3-(3)
23	226	下	チェック1 点灯防止対策	誤記である。 (「点灯」)	3-(2)
24	252	囲み	おいしいチョコレートの真実	発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(16)
25	258	下	吹き出し 環境に配慮した生活というと、エコいう言葉をよく聞くけれど、	脱字である。	3-(2)
26	263	下囲み	水 魚が住める水質になるまでの水の量 ※バスタブ1杯=300mLで換算	不正確である。 (「バスタブ1杯=300mL」)	3-(1)
27	274		弧食・個食	誤記である。 (「弧食」)	3-(2)
28	口絵9		食生活 JASマーク 日本農林規格（JAS規格）に合格した食品につけられる。	不正確である。 (「食品につけられる」)	3-(1)
29	口絵10		消費生活・環境 Rマーク	不正確である。 (図版)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

受理番号 26-36	学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（家庭分野）	学年 1-3
------------	--------	----------	----------------	--------

番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	33 - 34	図1	6つの食品群と食品群別摂取量の目安 1~6群 下段のイラスト	生徒にとって理解し難い表現である。 (説明がない。)	3-(3)
2	49	表1	食中毒を起こす細菌やウイルスの例 感染の原因となる食品（いずれも、加熱が十分でない場合）	生徒にとって理解し難い表現である。 (「魚介類の刺し身やすし類。」, 「感染者の便や嘔吐物からの二次感染が多い。」などと対応していない。)	3-(3)
3	53	上	野菜の洗い方 いもなど (2箇所) 63ページ ミネストローネ 作り方② 74ページ 次の野菜はどのような調理に使われているか考えましょう。さといも, ジャガイモ	相互に矛盾している。 (33~34ページ 図1等の野菜・いもの扱いと矛盾)	3-(1)
			75ページ 15行 ジャガイモやごぼうなどの野菜は, 78ページ ざつまいもの甘煮		
4	65	上	チキンソテー 作り方 ①とり肉は、皮と肉の間の脂肪を取る。 筋切りをし (p. 59 図3参照), 塩, こしょうを振って10分ほどおく。	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (脂肪の取り方, 筋切り)	2-(13)
5	67	下	魚の下ごしらえ あじ1尾の調理	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (うろこの扱い)	2-(13)
6	76	右	肉じゃが 材料メモ 煮崩れしやすい野菜は大きめに切る。 大きさをそろえると煮崩れにくくなる。 また、水からゆでると外側と内側が均一に仕上がる。	生徒にとって理解し難い表現である。 (材料の切り方などについて不明確)	3-(3)
7	87		ばらずし 野菜の酢煮 作り方 ②湯を沸かし, ①を2分ほどゆでてざるに上げ、熱いうちにAにつけて味をなじませる。 干ししいたけ, かんぴょう煮 作り方	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (野菜の酢煮の作り方など)	3-(3)
			②干ししいたけは軸を取り、2カップの水で1時間くらいかけて戻しておく。 取り出して鍋に入れてかぶるくらいの水を注ぎ、中火にかける。煮立ったら弱火で5分ほどゆでてざるに上げ、		
			水気を切る。		

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

受理番号 26-36		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（家庭分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
8	91	側注	★1食料自給率 国内の食料消費が、国内の農業生産でどれくらい賄っているかを示す値。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「農業生産」のみであるかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)	
9	96 - 99		食品成分表 表中の数値 0.0, 0.00 オクラ レチノールの値 2 成分値 (Tr)	生徒にとって理解し難い表現である。 (「0.0」, 「0.00」, 「2」, 「(Tr)」)	3-(3)	
10	135	5 - 6	表1を見ると、全国では年間1万人以上の人人が家庭内事故で亡くなり、交通事故による死者よりも多いことが分かります。 表1 家庭内事故と交通事故の死者数	生徒にとって理解し難い表現である。 (表1は全国の全ての人数を示していない。)	3-(3)	
11	137	3 - 4	火災の原因には図3のようなものがあり、死亡者の半数は高齢者です。	不正確である。 (「半数は」)	3-(1)	
12	137	7 - 9	火災の早期発見のために、消防法によって住宅用火災警報器の設置が義務づけられており、台所や寝室など火災の危険がある所に設置する必要があります。	不正確である。 (「台所や寝室など火災の危険がある所に」)	3-(1)	
13	143	右下	カビ 5 μm	表記の基準によっていない。 (「μ」)	3-(4)	
14	147	4 - 6	例えば、窓やベランダにすだれや布をかけて日光を遮るだけで、室内の温度を下げることができます。 資料 緑のカーテン 下の図のように、緑のカーテンによって室内の温度を	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「温度を下げる」)	3-(3)	
			下げることができます。			
15	147	中	資料 緑のカーテン	発展的な学習内容には該当しない。	2-(14)	
16	176	3	家族は、ともに生活することなどによりつくられます。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ともに生活していないと家族ではないかのように誤解するおそれがある。)	3-(3)	

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

受理番号 26-36		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（家庭分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
17	178	図1	中学生が自分で行っている生活習慣 挨拶やお礼を言う	不正確である。 (出典に照らして数値が不正確である。)	3-(1)
18	188	図1	心の発達の例 言葉 2歳頃から目覚ましい発達を見せ, 及び, 2歳の頃 「ブーブー」, 「マンマ」など, 一語文を話すようになる。	相互に矛盾している。	3-(1)
19	193	下	幼児の観察記録カード 右 年齢 1~5歳頃 観察のテーマ 幼稚園ではどんな1日を過ごしているのだろう	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (幼稚園児の年齢)	3-(3)
20	194	図2	遊び方の例 友達のそばで遊ぶのイラスト	生徒にとって理解し難い図である。 (「友達のそばで遊ぶ」遊び方の例として)	3-(3)
21	196	左	フェルトのサイコロ 作り方例 ②5枚を縫い合わせる。6枚目は, 返し口を5cm程度残して縫う。 ③綿を入れて返し口を縫う。	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (「返し口」)	2-(13)
22	198 - 199		幼児のおやつ	発展的な学習内容には該当しない。	2-(14)
23	198		ピザトースト 好みの具材 (マッシュルーム, ハム, コーンなど)	脱字である。	3-(2)
24	199		豆腐のパンケーキ 材料 作り方③	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (牛乳に関する記述など)	2-(13)
25	202	脚注	A57 その人へ信頼感をもとに	脱字である。	3-(2)
26	215	図1	1週間のうち1人で過ごす時間と家族と 過ごす時間	不正確である。 (「睡眠時間を除く。」)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

受理番号 26-36		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（家庭分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
27	219	脚注	Q63 認定こども園の普及の推進、地域の子育て支援の充実、保育所の受け入れ人数の増員などについて取り組みを進めることを目指して成立した制度を何というでしょうか。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 （「保育所の受け入れ人数の増員」）	3-(3)
			222ページ A63 子ども・子育て支援新制度		
28	232		安全、品質、福祉に関する表示やマーク PSEマーク E:Electrica	不正確である。 （「E:Electrica」）	3-(1)
29	240	脚注	A70 ②1962年に「消費者の利益の保護に関する連邦会議の特別教科書」として提示されたものが原点だといわれています。	不正確である。 （「特別教科書」）	3-(1)
30	245	図4	ごみを少なくするために行っていること (全体)	不正確である。 (出典に照らしてグラフが不正確である。)	3-(1)
31	246		環境に関する表示やマーク 再生紙使用マーク	不正確である。 (図版)	3-(1)
32	268 - 269		みんなが暮らしやすい社会を目指して -ユニバーサルデザイン-	発展的な学習内容であることが明示されていない。	2-(16)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

受理番号	26-46	学校	中学校	教科	技術・家庭	種目	技術・家庭（家庭分野）	学年	1-3
------	-------	----	-----	----	-------	----	-------------	----	-----

番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
1	15	3図	中学生、夫婦と子どもの世帯の夫・妻の生活時間（一週全体の平均） 共働き世帯（妻）	生徒にとって理解し難いグラフである。 (グラフの右側)	3-(3)
2	19	17 - 18	災害時には、学校の一貫として、中学生が地域の人びとの支援活動を担うこともあります。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「学校の一貫として」)	3-(3)
3	25	4 - 7	また、腕全体を動かせるようになってから、手先を使えるようになるために、中枢部（中心）から末端部（中心から遠いところ）へと発達していきます（11図）。	生徒にとって理解し難い表現である。 (手先の使用と発達の順序との関係)	3-(3)
4	25	右中	吹き出し 周りのおとなは子どもの発達の重要な役割があるんだね！	生徒にとって理解し難い表現である。 (「子どもの発達の」)	3-(3)
5	25	12図	手先の器用さ 2歳ごろの写真	生徒が誤解するおそれのある図である。 (2歳ごろの幼児の発達について、誤解するおそれがある。)	3-(3)
6	27	中	情緒の発達 悲しみ、驚き、喜び、恐れ、怒り、などが乳児期に現れ、5歳ごろまでに、得意、恥ずかしさ、しっとなど、おとなと同じような情緒が現れるようになります。	相互に矛盾している。	3-(1)
			及び、下囲み 情緒の発達（ブリッジエスによる）		
7	30 - 31		幼児の衣服と食べ方の特徴	生徒にとって理解し難い表現である。 (乳児期についての説明、リンク128・129ページ「お菓子をつくろう」など記述が整理されていない。)	3-(3)
8	60	写真	包丁を持つ写真	生徒が誤解するおそれのある写真である。 (包丁の持ち方について、誤解するおそれがある。)	3-(3)
9	63	脚注	豆知識 血液中の細胞の寿命は、赤血球は約120日、白血球は数時間～約5日、血小板は約3～10日とされており、	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (「白血球は数時間～約5日、」)	3-(3)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

受理番号 26-46		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭 (家庭分野)	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
10	65	3図	夕食の食べ方と心身の状況	不正確である。 (出典に照らして不正確である。)	3-(1)
11	65	囲み	夜遅くの食事は太るの? 5図 脂肪組織中の(BMAL1)量の変化 (マウス実験)	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (食事時間と脂肪の蓄積との関係について、誤解するおそれがある。)	3-(3)
12	67	1表	食事摂取基準(推奨量)の比較 8~9歳 男 カルシウム 1,650	誤りである。 (「1,650」)	3-(1)
13	69	囲み	スポーツ栄養の専門家から そのような中学生のみなさんに、食生活で気をつけてほしいポイントが5つ あります。 ①~⑤	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (中学生の食生活で気をつけてほしいポイントについて、誤解するおそれがある。)	3-(3)
14	75 - 77		● [] 内の数字は可食部の重量 じゃがいも (160g) しいたけ (15g) だいこん [900g] など	表記が不統一である。	3-(4)
15	78	脚注	豆知識 主食が決まれば主菜、副菜、汁ものなどの順番は前後してもかまいません。	生徒にとって理解し難い表現である。 (「主食が決まれば」)	3-(3)
16	78	上	考えてみよう 右の朝食と昼食には、どのような食品が使われているのだろうか。 79ページ 上囲み ①下の昼食の記入例にならって、左ページの朝食に使わ	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (朝食の献立が不明)	2-(13)
			れている食品を、食品群に分類してみよう。		
17	91	20図	保存中のほうれんそうのビタミンCの残存率	不正確である。 (目盛りと目盛り線の対応)	3-(1)
18	93	1	放射線物質	誤記である。	3-(2)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

受理番号 26-46		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（家庭分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
19	103	上囲み	各地域で生産されている肉の利用 奥美濃古地鶏 近江しゃも 信州黄金シャモ 左下の牛・豚・鶏	生徒にとって理解し難い図である。 (指示線)	3-(3)
20	108		牛丼 みりん…25mL (大1と大1/3)	不正確である。 (「25mL (大1と大1/3)」)	3-(1)
21	109		シチュー 作り方 3. 118ページ 野菜の色の変化 ごぼう , いも, れんこんなどは 119ページ 上囲み凡例 野菜の作付 延べ面積	相互に矛盾している。 (73~74ページ等の野菜・いもの扱いと矛盾)	3-(1)
			121ページ けんちん汁 作り方 2.		
22	122	上	筑前煮 干ししいたけ…2g (そぎ切り, 1枚, ひたるくらいの水 (100mL程度) でも どす	脱字である。	3-(2)
23	131		豆知識 打ち粉とは、小麦粉をこねた生地を薄くのばすとき, めん打ち台やめん棒に生地がつかないようにするための粉です。かたくり粉, 米粉など生地に使う	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (打ち粉について, 誤解するおそれがある。)	3-(3)
			粉とはちがう粉を使うとより効果的です。		
24	137	62図	各国のフードマイレージの比較	不正確である。 (数値と目盛りの対応)	3-(1)
25	137	右下	食品ロス 年間約800トン	誤りである。 (「約800トン」)	3-(1)
26	138	65図	品目別日本の食料自給率 豆類	不正確である。 (出典に照らして豆類の値が不正確である。)	3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

受理番号 26-46		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（家庭分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由		検定基準
	ページ	行				
27	138	下囲み	地域の気候を生かして、地産地消に取り組む 使っていただいている。	誤記である。		3-(2)
28	138 - 139		食料事情を考える	発展的な学習内容には該当しない。		2-(14)
29	141		学習をふり返ろう⑦ P. 98～P. 126 157ページ ふり返り2 154～155ページ 245ページ 学習をふり返ろう⑦ P. 238～239ページ	生徒にとって理解し難い表現である。 (該当ページについて、理解し難い。)		3-(3)
30	156	脚注	豆知識 衣服に火が着いた時は、走ってはいけません。火ができるだけ空気に触れないよう、たとえば床に転がるなどして火を消します。	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (衣服に火が着いた時の対処法)		3-(3)
31	159	11図	救急セットスリッパ	脱字である。		3-(2)
32	165	上	ゼロエネルギー住宅（2箇所） ゼロ・エネルギー住宅（2箇所）	表記が不統一である。		3-(4)
33	165	左下	日本の伝統的な民家 環境に大きな付加を与えずに	誤記である。 (「付加」)		3-(2)
34	175	脚注	* 日本ではJIS（日本工業規格；繊維製品を含む工業製品の品質を一定にするために国が定めた規格）によって表示が制定されていますが、「取扱い絵表示」については2014年からISO（国際標準化機構）が制定した国際規格で表示されています。」	不正確である。 (「『取扱い絵表示』については2014年からISO（国際標準化機構）が制定した国際規格で表示されています。」)		3-(1)
			国際標準化機構）が制定した国際規格で表示されています。			
35	177	6図	汚れの付着による綿肌着の性能変化	学習上必要な出典が示されていない。		2-(10)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

受理番号 26-46		学校 中学校	教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（家庭分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準
	ページ	行			
36	179	2表	取扱い絵表示の記号と意味 (全体)	不正確である。 (「ISO」の表示)	3-(1)
37	179	脚注	豆知識 新しく採用された表示では、家庭洗濯と商業洗濯を含めた方法について、適用可能な最も厳しい操作方法について情報を提供しています。	不正確である。 (「新しく採用された表示」)	3-(1)
38	179	7図	洗濯などの手入れで失敗した例 ①洗濯で縮んだセーター（毛） 30℃の液温で中性洗剤や手洗いをする。	誤記である。 (「中性洗剤や手洗い」)	3-(2)
39	180	下囲み	衣服の素材、組織を見てみよう 繊維の種類	学習指導要領に示す内容と明確に区別されておらず、 また、発展的な学習内容であることが明示されていない。 (新素材)	2-(16)
40	184	6表	繊維の種類とアイロンの温度 当て布（平織の綿）の上からかける。 取扱い絵表示	不正確である。 (図版)	3-(1)
41	188	下	かがり縫い かがり縫いには縫いしろのしまつ（⇒197ページ）にも用いられます。	誤記である。 (「かがり縫いには」)	3-(2)
42	191		7縫う (⇒193ページ)	不正確である。 (「193ページ」)	3-(1)
43	202		3底を縫う ボトルを入れて底になる面の位置を決め、①②をミシン縫い、または本返し縫いする。 図	生徒が自ら活動を行えるよう適切な配慮がされていない。 (「①②をミシン縫い」、図)	2-(13)
44	203		2ポケットをつけ、両わきを縫う 196ページを参照してポケットをつける。	不正確である。 (「196ページ」)	3-(1)
45	204		2また上を縫う 図	誤記である。 (「前また下」「うしろまた下」)	3-(2)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。

検定意見書

受理番号 26-46		学校 中学校		教科 技術・家庭	種目 技術・家庭（家庭分野）	学年 1-3
番号	指摘箇所		指 摘 事 項	指 摘 事 由	検定基準	
	ページ	行				
46	222		環境 再生紙使用マーク	不正確である。 (図版)		3-(1)
47	223		★は国で定めた規格・基準、無印は自治体、業界団体の自主規格です。 及び、特定保健用食品マーク	相互に矛盾している。		3-(1)
48	223		その他 伝統マーク 手作業でつくられる伝統的工業品	不正確である。 (「手作業でつくられる」「工業品」)		3-(1)
49	234	囲み	「消費者力」を身につけよう フェアトレード	発展的な学習内容であることが明示されていない。		2-(16)
50	237	10図	家庭で使用されるエネルギー (EDMC/エネルギー・経済統計要覧 (2010年版) より作成)	不正確である。 (出典に照らしてグラフが不正確である。)		3-(1)
51	237	右上	ノルウェーの環境マーク	生徒が誤解するおそれのある表現である。 (ノルウェーのみの環境マークであるかのように誤解するおそれがある。)		3-(3)
52	244	囲み	環境問題への挑戦 大量の放射能が放出され、	不正確である。 (「放射能」)		3-(1)
53	260	囲み	書いて伝えよう お祝い状の例 ○○さんの長い間の準備と練習が身を 結びましたね。	誤記である。 (「身を結び」)		3-(2)
54	264 - 266		おはしょり…175 牛乳かん…129 ジャーマンポテト…124 津軽てんでんこ…159 わらびもち…126, など	不正確である。 (該当ページに記述がない。)		3-(1)

検定基準の欄には、義務教育諸学校教科用図書検定基準又は高等学校教科用図書検定基準の第2章及び第3章に掲げる項目のうち、該当するものの番号を示す。